

2006年の旅行動向見通し／ “遊び”と“創造性”が観光を変える!!

開催概要

旅行・観光業界向けに、旅行市場の動向分析と新しい志向・潮流の紹介を軸に、当財団が毎年暮れに継続実施しているセミナー。05年度は、当財団の調査をもとに「2006年の旅行動向見通し」を発表し、また、「話題の文化施設に学ぶ観光の発想転換術」をテーマとしたパネルディスカッションを開催した。

担当者：小林英俊 黒須宏志 久保田美穂子 岩崎比奈子

日時：05年12月21日 13:30～17:25

場所：経団連会館 11F国際会議場(東京・大手町)

主催：財団法人日本交通公社

参加者概要：参加者数 230名

プログラム

第1部 財団報告

「2006年の旅行動向見通し」

寺崎竜雄 黒須宏志 塩谷英生 (いずれも財団法人日本交通公社 主任研究員)

2005年の旅行・観光マーケットはどのような状況であったか、そして2006年はどのような年になるのか、当財団がこれまで18年間にわたって継続してきた「観光業界を代表する方に聞く旅行の見通しアンケート」や、四半期ごとに発表している「JTBF観光経済レポート」などに基づいて解説した。

第2部 パネルディスカッション

「話題の文化施設に学ぶ観光の発想転換術」

パネリスト：蓑 豊氏 (金沢21世紀美術館 館長・金沢市助役)

小菅正夫氏 (旭川市旭山動物園 園長)

コーディネーター：小林英俊 (財団法人日本交通公社 理事)

2004年10月にオープンし、入園者数を伸ばし続けている金沢21世紀美術館、私たちが思い描く動物園のイメージを大きく変えた旭山動物園、パネルディスカッションでは、両施設の面白さがどのようなところから来ているのかを学び、こうした施設のあり方から、旅行・観光に携わる者として何を学びとるべきなのか議論した。

